



皆さん、こんにちは！

少しずつ暖かくなり、花粉症の方はつらい季節になりましたね

今回のテーマは『皮膚炎』です

かゆい！！

暖かくなってすごし易くなってきましたが、寄生虫やカビや細菌たちにとってもすごし易く増殖しやすくなります。皮膚炎（かゆみ）の原因は、

- ①外部寄生虫（ノミ・マダニ・疥癬ダニなど）によるもの、
- ②カビや細菌の感染によるもの、
- ③アレルギー性疾患など様々です。

それぞれの原因が、単独・あるいは重複して犬猫の皮膚に炎症を起こし、かゆみの原因となります。また、重複したり、慢性化している場合は、1次的原因と2次原因（感染）の治療が必要な場合があります。



①外部寄生虫

ノミやマダニといった眼に見える大きさの寄生虫のほかに、疥癬、アカラス（毛包虫）のように、顕微鏡で探さないと見えない小さなダニも寄生します。駆虫薬を投与することで、治療することができます。

ノミやマダニは皮膚炎だけでなく、小さな体の中にさらに寄生虫（ノミは瓜実条虫、ダニはバベシアなど）を持っている場合がありますので、皮膚治療のためだけでなく、他の感染症を防ぐためにも定期的にノミダニ駆除剤（犬：フロントラインプラス・猫：レボリューション）を使用しましょう。

②カビや細菌感染

細菌や、カビ（マラセチアなど）が何らかの原因で増殖して、感染を起こします。

病原菌単独で悪さをすることもあれば、

外部寄生虫やアトピー性皮膚炎が原因となり、痛んだ皮膚に菌が増殖（2次感染）した結果

その刺激でさらに炎症を悪化させ、

かゆみも増し、悪循環になる場合もあります。

③アレルギー性疾患

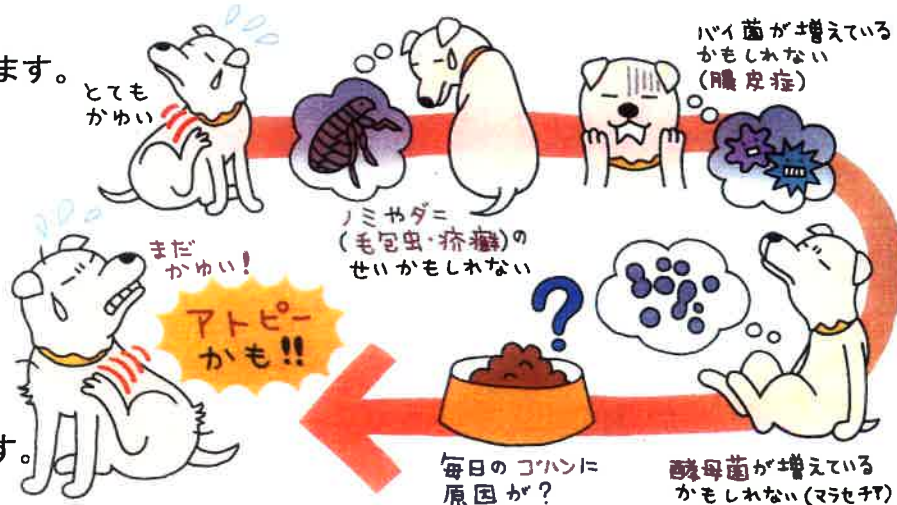
外部寄生虫や細菌感染などもなく、

もしくは感染症の治療をしたにも関わらずかゆみが改善しない場合は

食事性アレルギーや

アトピー性皮膚炎など

アレルギー性疾患の可能性が高くなります。



かゆみなど皮膚に異常が見つかったときはお早めにご来院ください。

シャンプーで皮膚炎治療

皮膚炎の治療の時に、お願いするのがお家でのシャンプーです。

シャンプーは、病原体・汚れ・アレルゲン、さらに余計な皮脂を落とし、それらを餌に増える細菌やカビを増えにくくするための大切な治療の一環です。

…治療時の正しいシャンプーの仕方…

処方された「薬用シャンプー」を使ってください。

①お湯の温度はぬるめ（30℃位）でしっかり体を濡らす
（暖かいとかゆみが強くなる事があります）

②シャンプー1回目

泡立たないことが多いがしっかり洗い流してください

③シャンプー2回目

泡立てて5分程そのまま（薬用成分を皮膚にしみこませる為）

その後、しっかり洗い流す

④冷風または低温風ドライヤーで乾かしましょう。（温風はかゆみが増す事があります）
中途半端に濡れているとまた皮膚病の原因になります。

④保湿：特に乾燥肌や、脱脂力の強いシャンプーの後は、しっかり保湿する



●当院オススメ薬用シャンプー●

エピスース…アトピーやアレルギーなどの痒みを止める効果があります。

香りもよく、皮膚炎など関係なく普段使いも可能です。

ノルバサン…抗細菌作用があり、殺菌効果をもちます。

マラセブ…抗菌作用（細菌及び真菌）があり、マラセチア、細菌に対して効果があります。

塚崎トレーナーのしつけのいろは

《第12回：お散歩中にリードを使った『おいで』の練習》

文責：塚崎

散歩のときにも「おいで」の練習をしましょう。外に出るとうれしくて興奮したり、興味があるものがたくさんあったりして家の中とはまた状況が違います。どんな状況でも確実にできるように少しずつ練習しておきましょう。「おいで」がきちんとできていれば、万が一犬が飼い主から離れてしまっても呼べば戻ってくるので安心です。

●下がる、たぐる、ほめる 3つの「る」で呼び戻す●

動くものについていこうとする犬の本能を利用した練習方法です。

①リードの端を持って、軽くリードをツンツンと引いて合図を送る。

犬が振り向いた瞬間に『おいで』と声をかける

②そばやく後ずさりしながらリードをたぐり寄せると自然と犬が近づいてくる

③そばまで来たら『えらいね』などと言ってほめながらごほうびをあげる



しつけや訓練と考えるのではなく、遊びのひとつとして1回の散歩で数回を目安に。犬が楽しくやれるように声のトーンや表情、体の動きなども工夫してみてください。そして、しつこく繰り返さないように気をつけて下さい。

西川動物病院



tel: 0940-43-0200

mail: info@on-vet.com

2014.4月